



●常点灯仕様で「ON・OFFスイッチ」を備えるヘッド・テールライトは電球色LEDで点灯し、テールライトはカラープリズムにより赤色で点灯します。また、キハ143形はいずれも運転台側カブラーを、ボディマウント式密自連形TNカブラー（SP）としています。なお、前面表示は「石狩当別-札幌」を印刷、幌枠は着脱可能な別パーツとしています。



●キサハ144形（写真上）は冷房化に伴い、新たに装備した床下のディーゼル発電機その他、オリジナルのTR230A形台車を代わるTRS1形を、キハ143形はN-DT150A・N-TR150A形台車を再現しています。



●前後デッキ部2箇所のベンチレーターと中央部に載るN-AU26クーラー、付属パーツによるホイッスルカバー、無線アンテナ、信号炎管が運転台部に付くキハ143形（奥）の屋根上と、同様に前後デッキ部2箇所のベンチレーターと中央部にクーラーが乗るキサハ144形（手前）の屋根上。ベンチレーターとクーラーは別パーツとしています。



キハ143形（札沼線）セット（3両）

JR北海道では民営化時に、一般形ディーゼルカーとしてキハ22形、キハ40形などを引き継ぎましたが、これら車両の老朽化対応と使用する線区事情に合わせて、民営化直後に輸送量が少ない線区向けに、車体長が短いキハ130形を新製しました。一方、ある程度の輸送量がある線区向けとして、客車列車減少により余剰となっていた、一般形客車オハフ51形を改造したディーゼルカーを、1990（平成2）年2月より札沼線（学園都市線）に投入しました。この改造車では、片運転台でトイレ付き、エンジン1基のキハ141形、同形とペアを組む片運転台でトイレ無し、エンジン2基のキハ142形の他、片運転台で高出力エンジン1基のキハ143形（トイレ無し：100番代・トイレ付き：150番代）が、さらに両番代に組み込む中間付随車のキサハ144形が登場しました。

トミックスでは札沼線電化後、室蘭本線へ転じたキハ143形の2両セットを2021年1月に発売しましたが、この度、キサハ144形を新たに加え、札沼線時代を再現した3両セットをラインナップします。モデルはキハ143形150番代にM-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを搭載、キハ143形100番代とキサハ144形には新集電システムを、加えて全車に黒色車輪を使用しています。また、セットには車体番号の転写シートが付属します。

本セットだけの3両編成のみならず、同時発売予定のリニューアル『キハ40400形』を連結した4両編成もお楽しみください。

キハ143形

ディーゼルカー（札沼線）

■ JR キハ143形ディーゼルカー（札沼線）セット（3両）
 <97239> 予価¥16,500（税込）

JR北海道商品化許諾済 **5月発売予定**